

令和5年度第2回嘉麻市自殺対策連携協議会 会議録

1. 審議会等の名称 嘉麻市自殺対策連携協議会
2. 開催日時 令和5年11月9日(木) 15時30分から16時40分
3. 開催場所 稲築保健センター 3階会議室
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)

6. 出席者

- (1) 委員 堂本 和也、小川 史佳、小出 悦子、辻 秀志、大田 岱次、
西園 梢、岩崎 利奈、末吉 進一
(欠席) 中野 勝己、平塚 宏美、栗野 良一、江崎 友輔

(2) 事務局

健康課長 堀田 晶、健康推進係長 井口 智美、健康推進係主任 野見山 幸代

7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人

8. 議題及び審議の内容

(1) 第2次嘉麻市自殺対策計画(案)について

① 自殺の現状等について(素案に沿って説明)

【事務局】令和4年度実施したアンケート調査において、自殺に関する市民の意識についての項目を設けた。結果、「自殺は繰り返されるので、周囲の人が止めることができない」の項目には、「そう思わない」と回答した人が27.1%、また「自殺をしようとする人の多くは、何らかのサインを発している」の項目に対しては、「そう思う」と回答した人が37.2%との結果であった。この2項目への回答割合を、第2次計画における普及啓発の評価の指標としたいと考えている。いずれも50%を目標として設定したい。

② 第2次計画における数値目標の設定について(資料1に基づき説明)

【事務局】第1次計画の数値目標(自殺死亡率)については、平成30年以降、いずれの年も目標値の26.4を下回り、目標に届く結果となった。第2次計画における数値目標として、直近5年の自殺者総数を評価指標としたい。平成30年から令和4年の総数31人に対し、「20人以下」を目標とする事務局案である。目標の設定にあたっては、直近5年の平均死亡率16.3を下回る数となることに留意した。

【委員】5年間で31人を20人以下にする目標設定であるが、目標を達するための事業計画があるのか。

【事務局】推進のための取組について、この後説明させていただく。

【委員】令和5年の自殺者数はわかっているか。

【事務局】現時点で9月までの暫定値が公表されており、男性4人、女性1人計5人となっている。

【委員】自殺者数は年度（4月から3月）の数か。

【事務局】自殺者数は年度ではなく、1月から12月の1年間の数である。

【委員】自殺者数について、平成30年から減少傾向であり、よかった。目標として0がいいが、令和4年の2人の結果をとって10人でもいいかと思うし、令和5年の暫定値の5人からすれば、20人以下でもいいかとも思う。

【委員】最終的には0人を目指すことを念頭においておかないといけない。目標を人数で設定することの難しさを感じている。

【会長】今後の取組みについて、先に事務局から説明を受け、改めて数値目標の設定について諮ることとしたい。

【事務局】 ③第2次計画推進のための取組について（素案及び資料1に基づき説明）
（「第3章 第1次計画における取組と評価」の構成の概要及び「第4章 自殺対策を推進するための取組」について、基本理念を第1次計画に引き続き「誰も自殺に追い込まれることのない嘉麻市の実現」としたいこと、重点施策に女性施策を追加した社会的背景、及び第2次計画に新た掲載することとしたい事業・取組み（8件）について主に説明）

【委員】「誰も自殺に追い込まれることのない嘉麻市の実現」に同感である。自殺対策は「生きることの促進要因を増やすこと」が重要であると思っており、今年亡くなった5人の方の「生きることの阻害要因」が何だったのかを考え、阻害要因を減らす対策をとっていかないといけないと考える。

嘉麻市は、高齢者の自殺の割合が多い現状であり、原因では「健康問題」が最多である。このことから考えると、高齢者の健康問題に係る取組が自殺対策として重要であり、現状と基本理念、新規事業が一致しているので、いいのではないかと思う。

【事務局】基本理念の実現を目指して、「生きることの阻害要因」を減らし、「生きることの促進要因を」増やすことが重要との共通認識を持ち、取組んでいきたいと考えている。

【委員】素案48ページの「(2) 経営者に対する相談や事業による支援」中、「経営改善普及事業」「経営発達支援事業」「経営相談」は、内容的には同様であるため、事業として一つにまとめてよいのではないかと思う。当該事業は、商工会議所も取組んでいるため、実施主体に追加願いたい。

【委員】新たに取組む助成金等支給に係る事業について、市民に分かりやすくPRするこ

とが肝要である。

【委員】時間外に実施されている「こころの電話相談事業」について、利用実績を尋ねたい。
ニーズがある一方、行っていないため、参考にしたい。

【事務局】(素案 26 ページに基づき、4 年間の実績を回答)

【委員】素案 54 ページ「青少年健全育成事業」中、「教育センター」を「教育研究所」に訂正
願う。また、「適応指導教室」は教育研修所内に所在している。

【会長】取組事業の内容を受け、目標値の設定について再度諮らせていただく。
事務局案「20 人以下」としてよろしいか。

(委員から特段の異議なし、よって事務局案で決定となる。)

(2) 第 2 次計画策定に向けた今後のスケジュールについて

【事務局】(資料 2 に基づき、本協議会以降のスケジュールについて説明。第 3 回の本協議会は、
パブリックコメント実施結果の報告とともに、第 2 次計画決定に係る審議をいた
だく場として、令和 6 年 2 月に開催予定としたい旨を報告)

(3) その他

委員及び事務局とも、案件なし

○配付資料

- ・ 会議次第
- ・ 第 2 次嘉麻市自殺対策計画 (素案)
- ・ 資料 1 第 2 次嘉麻市自殺対策計画 構成案
- ・ 資料 2 スケジュール (案)